（様式３）

中堅教諭等資質向上研修（高）　自己課題に応じた研修実施報告書

１　研修対象教員

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 免許 | 採用年 |
|  |  | 　S・H・R　　年　　月採用 |

＊1 免許は、校種と種類を記入。教科は（　）内に記入。　＊採用年は、岐阜県教職員として採用された年月

２　自己課題に応じた研修の実施

**実施前に、自己課題、研修内容等を記入後、必ず校長に説明し、受講の許可を得ること**

**※選択研修の内容は、自己課題に応じた内容であること**

**※県が主催する研修を選択する場合、資質向上期又は資質充実期のキャリアステージから選択することが望ましい**

**令和　　年度【教職経験　　年目】**　　　　　　　　　学校

|  |  |
| --- | --- |
| 自己課題 |  |
| 自己の課題に応じた研修記録 | 期　日 | 主な研修内容 | 会場 | 指導者 |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 反省 | 成果と課題 |  |
| 校長助言 |  |

**令和　　年度【教職経験　　年目】**　　　　　　　　　学校

|  |  |
| --- | --- |
| 自己課題 |  |
| 自己の課題に応じた研修記録 | 期　日 | 主な研修内容 | 会場 | 指導者 |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 反省 | 成果と課題 |  |
| 校長助言 |  |

**令和　　年度【教職経験　　年目】**　　　　　　　　　学校

|  |  |
| --- | --- |
| 自己課題 |  |
| 自己の課題に応じた研修記録 | 期　日 | 主な研修内容 | 会場 | 指導者 |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 反省 | 成果と課題 |  |
| 校長助言 |  |

**令和　　年度【教職経験　　年目】**　　　　　　　　　学校

|  |  |
| --- | --- |
| 自己課題 |  |
| 自己の課題に応じた研修記録 | 期　日 | 主な研修内容 | 会場 | 指導者 |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 反省 | 成果と課題 |  |
| 校長助言 |  |

３　注意事項

・教職経験が１２年を経過するまでに、校外研修（自己課題に応じた研修）４日以上（自己課題に応じた総合教育センターの講座、各地区等で実施される研修会や研究発表会、地区内小中学校で行われる研究授業及び授業研究会、研修教員が自ら研修テーマを深める研修等への参加）を実施する。

・教職経験が満１１年を経過してから、校外研修（自己課題に応じた研修）４日全てを実施してもよいが、６年間でバランスよく受講することが望ましい。

・講座番号は、講座番号がある講座の場合のみ記入する。

・受講年度の研修記録欄が不足した場合は、次年度の研修記録欄に記入する。

・用紙が足りなくなった場合は、２枚目を準備し使用する。

・１２年目に受講する「中堅教諭等資質向上研修」の計画書の提出時に使用するため、１２年目までは各自で保管する。

※報告書提出時は、提出書類を一つにまとめ、PDF形式にて電子メールにて提出する。

（様式３）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【記入例】

**記入例**

中堅教諭等資質向上研修（高）　自己課題に応じた研修実施報告書

１　研修対象教員

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 免許 | 採用年 |
| ○○　○○ | 高専修（理科）　高一種（理科） | 　S・・R　○年　４月採用 |

＊1 免許は、校種と種類を記入。教科は（　）内に記入。　＊採用年は、岐阜県教職員として採用された年月

２　自己課題に応じた研修の実施

**実施前に、自己課題、研修内容等を記入後、必ず校長に説明し、受講の許可を得ること**

**※選択研修の内容は、自己課題に応じた内容であること**

**※県が主催する研修を選択する場合、資質向上期又は資質充実期のキャリアステージから選択することが望ましい**

**令和　○年度【教職経験　７年目】**　○○高等学校

|  |  |
| --- | --- |
| 自己課題 | 生徒がタブレット端末やスマートフォンなどを使用する際、情報モラルについて正しい知識をもって生徒と向き合い、指導することができる力を身に付ける。 |
| 自己の課題に応じた研修記録 | 期　日 | 主な研修内容 | 会場 | 指導者 |
| 月　日（　） | 講座番号　〇〇〇〇情報モラル教育指導者養成講座 | 総合教育センター | ・教育研修課・講師○○○○ |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 反省 | 成果と課題 | 最新の身近なネットトラブルを知り、情報モラル教育に関する講話を行うときに大切にすべきポイントを学べた。生徒などを対象に話す際には、より分かりやすく、漏れなく伝えられるよう、普段から学ぶことを意識する。 |
| 校長助言 | 情報モラル教育は生徒の他に、教員や保護者にとっても重要なものである。今後は指導者として様々な場面で活躍してもらいたい。 |

**令和　○年度【教職経験　９年目】**　○○高等学校

|  |  |
| --- | --- |
| 自己課題 | 主体的・対話的で深い学びの充実を図る授業の在り方～どの教師も理科の見方・考え方を育むことができる授業～ |
| 自己の課題に応じた研修記録 | 期　日 | 主な研修内容 | 会場 | 指導者 |
| 月　日（　） | 講座番号　〇〇〇〇授業が変わる！授業が深まる！ICT活用 | 総合教育センター | 外部講師講座担当者 |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 反省 | 成果と課題 | 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目的として、ICTを活用する授業作りを学んだ。ICTをより良い授業作りのためのツールとして認識し、有効に活用することで授業改善を行う。 |
| 校長助言 | ICTはツールであり、使用することのみにとらわれては授業改善につながらない。先進的な取り組みにアンテナを高く伸ばし、普段の授業と照らし合わせ、有効に活用できる場面を絶えず模索してほしい。また、中堅教諭として、若手教員への指導にもつなげてもらいたい。 |

**令和　○年度【教職経験１１年目】**　○○高等学校

|  |  |
| --- | --- |
| 自己課題 | 主体的・対話的で深い学びの充実を図る授業の在り方～どの教師も理科の見方・考え方を育むことができる授業～ |
| 自己の課題に応じた研修記録 | 期　日 | 主な研修内容 | 会場 | 指導者 |
| 月　日（　） | 講座番号　〇〇〇〇理科教育講座（高　理科） | 総合教育センター | 教育研修課指導主事 |
| 月　日（　） | 講座番号　〇〇〇〇授業改善講座出張研修 | 〇〇高等学校 | 教育研修課指導主事 |
| 月　日（　） | 講座番号 |  |  |
| 反省 | 成果と課題 | 主体的・対話的で深い学びの授業改善の視点を理解できた。その視点をもとに、自分の授業を振り返るだけでなく、同僚と共有する。 |
| 校長助言 | 授業改善の視点を具体的に職員に示すことが、それぞれの自己見つめにつながり、よりよい実践に発展することを期待している。 |